

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	HBs 抗原	142	99.30%
2	HBs 抗体	25	17.48%
3	HBc 抗体	16	11.19%
4	HCV 抗体	140	97.90%
5	HTLV-I 抗体	3	2.10%
6	HIV 抗体	41	28.67%
7	梅毒	127	88.81%

57. 血漿分画製剤を使用した後に患者さんの感染症の検査をしていますか

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの輸血後検査をしている	31	4.12%
2	特別な場合以外、ほとんど検査していない	331	44.02%
3	していない	390	51.86%
	合計	752	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの輸血後検査をしている	12	6.70%
2	特別な場合以外、ほとんど検査していない	66	36.87%
3	していない	101	56.42%
	合計	179	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの輸血後検査をしている	18	3.16%
2	特別な場合以外、ほとんど検査していない	265	46.49%
3	していない	287	50.35%
	合計	570	

58. 問 57 で①を選択した場合は感染症の検査項目は **複数回答項目**

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	HBs 抗原	34	100.00%
2	HBs 抗体	9	26.47%
3	HBc 抗体	3	8.82%
4	HCV 抗体	33	97.06%
5	HTLV-I 抗体	1	2.94%
6	HIV 抗体	22	64.71%
7	梅毒	21	61.76%

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	HBs 抗原	14	100.00%
2	HBs 抗体	2	14.29%
3	HBc 抗体	1	7.14%
4	HCV 抗体	14	100.00%
5	HTLV-I 抗体	1	7.14%
6	HIV 抗体	8	57.14%
7	梅毒	8	57.14%

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	HBs 抗原	20	100.00%
2	HBs 抗体	7	35.00%
3	HBc 抗体	2	10.00%
4	HCV 抗体	19	95.00%
5	HTLV-I 抗体	0	0.00%
6	HIV 抗体	14	70.00%
7	梅毒	13	65.00%

5) 輸血過誤による ABO 異型輸血について

59. 過去 5 年間 (2000 年 1 月 1 日から 2004 年 12 月 31 日) の総輸血 袋 (本) 数は (赤血球製剤、凍結血漿、血小板製剤、全血のすべての製剤を対象とします)

【全体/病床数未記入も含む】

	施設数	最小	最大	平均
総輸血袋 (本)	540	0	396425	14855.09

【300床以下】

	施設数	最小	最大	平均
総輸血袋 (本)	110	0	20985	2021.94

【300床以上】

	施設数	最小	最大	平均
総輸血袋 (本)	427	0	396425	18224.78

60. 過去 5 年間 (2000 年 1 月 1 日から 2004 年 12 月 31 日) に輸血過誤による ABO 異型輸血が発生しましたか (赤血球製剤、凍結血漿、血小板製剤、全血のすべての製剤を対象とします。緊急時に選択した異型適合輸血は除きます)

【全体/病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	ある	62	7.88%
2	ない	725	92.12%
	合計	787	

症例数

症例数	件数
0	10
1	55
2	6
3	2

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	ある	5	2.84%
2	ない	171	97.16%
	合計	176	

症例数

症例数	件数
0	2
1	5

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	ある	57	9.39%
2	ない	550	90.61%
	合計	607	

症例数

症例数	件数
0	8
1	50
2	6
3	2

61. 貴機関での ABO 異型輸血防止対策について特記すべきことがあればご記入ください。

ABO 異型輸血防止対策について特記事項一覧は 050318ABO.xls 参照

6) 貯血式自己血輸血について（5年間：2000.1.1～2004.12.31）

62. 5年間の貯血式自己血輸血の実績

【全体／病床数未記入も含む】

製剤名	項目	施設数	最小	最大	平均
2000年	単位	524	0	2407	244.64
	袋（本）	494	0	1397	129.25
2001年	単位	565	0	2360	244.11
	袋（本）	534	0	2011	132.05
2002年	単位	598	0	2544	252.17
	袋（本）	562	0	2946	136.08
2003年	単位	680	0	2779	265.44
	袋（本）	642	0	1457	140.98
2004年	単位	695	0	2785	259.04
	袋（本）	658	0	1540	140.10

【300床以下】

製剤名	項目	施設数	最小	最大	平均
2000年	単位	93	0	1642	65.30
	袋（本）	90	0	285	27.98
2001年	単位	98	0	1745	66.26
	袋（本）	97	0	284	27.12
2002年	単位	101	0	1787	61.38
	袋（本）	97	0	293	24.64
2003年	単位	118	0	1945	64.14
	袋（本）	116	0	320	26.24
2004年	単位	122	0	2203	66.16
	袋（本）	117	0	376	28.08

【300床以上】

製剤名	項目	施設数	最小	最大	平均
2000年	単位	428	0	2407	285.05
	袋（本）	402	0	1397	152.41
2001年	単位	464	0	2360	282.82
	袋（本）	435	0	2011	155.82
2002年	単位	494	0	2544	291.54
	袋（本）	462	0	2946	159.65
2003年	単位	559	0	2779	307.91
	袋（本）	524	0	1457	166.70
2004年	単位	569	0	2785	300.71
	袋（本）	538	0	1540	164.36

63. 貯血式自己血輸血の保存方法はどのようにしていますか

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	全血保存	629	85.00%
2	成分保存（赤血球成分/新鮮凍結血漿）	25	3.38%
3	全血保存と成分保存の併用	86	11.62%
	合計	740	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	全血保存	122	95.31%
2	成分保存（赤血球成分/新鮮凍結血漿）	5	3.91%
3	全血保存と成分保存の併用	1	0.78%
	合計	128	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	全血保存	503	82.87%
2	成分保存（赤血球成分/新鮮凍結血漿）	20	3.29%
3	全血保存と成分保存の併用	84	13.84%
	合計	607	

64. 静脈穿刺しているのは誰ですか

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	医師	431	58.40%
2	看護師	189	25.61%
3	医師及び看護師	116	15.72%
4	臨床検査技師	0	0.00%
5	その他	2	0.27%
	合計	738	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	医師	62	46.97%
2	看護師	49	37.12%
3	医師及び看護師	21	15.91%
4	臨床検査技師	0	0.00%
5	その他	0	0.00%
	合計	132	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	医師	366	60.90%
2	看護師	138	22.96%
3	医師及び看護師	95	15.81%
4	臨床検査技師	0	0.00%
5	その他	2	0.33%
	合計	601	

65. 問64で①医師と回答された方について

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	輸血部門の医師	39	8.42%
2	主治医	383	82.72%
3	その他	41	8.86%
	合計	463	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	輸血部門の医師	1	1.47%
2	主治医	65	95.59%
3	その他	2	2.94%
	合計	68	

その他（記入一覧） 300床以下

外来採血の場合は外科医、病棟採血の場合は主治医が採血	1
主治医または主治医に依頼された医師	1

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	輸血部門の医師	38	9.72%
2	主治医	314	80.31%
3	その他	39	9.97%
	合計	391	

その他（記入一覧） 300床以上

医療安全委員会部長	1
各科の担当医	1
血液センターのスタッフ	1
血液腫瘍科	1
血液内科医師	2
採血担当医師を設定	1
自己血採血を行っている、各診療科のローテーション	1
自己血採血当番医	1
主に主治医。不在の時は同科の医師	1
主治医と同科医師	1
主治医または診療科によっては採血当番医	1
主治医または診療科医師	1
主治医または担当医	2
主治医もしくは、主治医と同科の医師	1
主治医及び輸血部門の医師	1
診療科医師	1
担当科の医師	1
当該科の医師	1
同じ診療科の医師、主治医とは限らない	1
同科の医師	1
麻酔医	1
麻酔科医師	2
輸血部医師と主治医	1
輸血部門の医師と主治医	1
輸血部門の医師または主治医	1
臨床科輪番制	1
臨床検査科 医局員	1

66. 自己フィブリン糊を作製していますか

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	作製している	41	5.50%
2	作製していない	704	94.50%
	合計	745	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	作製している	3	2.03%
2	作製していない	145	97.97%
	合計	148	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	作製している	38	6.41%
2	作製していない	555	93.59%
	合計	593	

67. 主として使用している採血バッグの形状について

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	針付バッグ	545	77.75%
2	針なしバッグ	137	19.54%
3	その他	19	2.71%
	合計	701	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	針付バッグ	97	82.91%
2	針なしバッグ	17	14.53%
3	その他	3	2.56%
	合計	117	

その他（記入一覧） 300床以下

200mlが針なし、400mlが針付き	1
血液センター依頼のため不詳	1
現在使用していない	1

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	針付バッグ	445	76.86%
2	針なしバッグ	119	20.55%
3	その他	15	2.59%
	合計	579	

その他（記入一覧） 300床以上

ほぼ同数	1
1:針付バッグと2:針なしバッグを同じくらい併用している	1
主治医により半々くらい	1
診療科によって違う	1
診療科により異なる	1
針付、針なしの併用	1
針付、針なしを使用	1
針付と針なしを患者によって使い分けている	1
全血保存と成分保存で異なる	1
張付き、針なしの両方	1
両方を使用	1
両方使用	1

68.5年間に血管迷走神経反射を経験したか

【全体／病床数未記入も含む】

I度

経験数	件数
0	318
1	29
2	15
3	13
4	4
5	10
6	3
7	2
8	1
9	2
10	9
11	1
15	1
16	2
17	1
18	1
19	1
20	3
25	3
27	1
28	1
29	1
30	4
35	3
47	1
52	1
54	1
108	1
把握していない	2
不明	14

Ⅱ度

経験数	件数
0	369
1	21
2	11
3	3
4	4
5	1
11	1
20	1
30	1
把握していない	2
不明	14

Ⅲ度

経験数	件数
0	390
1	4
2	4
3	1
18	1
62	1
把握していない	2
不明	14

【300床以下】

Ⅰ度

経験数	件数
0	74
1	1
2	2
5	1
10	2
不明	1

Ⅱ度

経験数	件数
0	74
1	1
2	1
不明	1

Ⅲ度

経験数	件数
0	75
不明	1

【300床以上】

I度

経験数	件数
0	240
1	28
2	13
3	13
4	4
5	9
6	3
7	2
8	1
9	2
10	7
11	1
15	1
16	2
17	1
18	1
19	1
20	3
25	3
27	1
28	1
29	1
30	4
35	3
47	1
52	1
54	1
108	1
把握していない	2
不明	13

II度

経験数	件数
0	292
1	20
2	10
3	3
4	4
5	1
11	1
20	1
30	1
把握していない	2
不明	13

Ⅲ度

経験数	件数
0	312
1	4
2	4
3	1
18	1
62	1
把握していない	2
不明	13

69.5年間の貯血式自己血輸血採血の総件数は

【全体／病床数未記入も含む】

	施設数	最小	最大	平均
総件数	522	0	6632	636.45

【300床以下】

	施設数	最小	最大	平均
総件数	92	0	5080	137.33

【300床以上】

	施設数	最小	最大	平均
総件数	426	0	6632	747.26

70.5年間で貯血式自己血輸血において細菌感染はあったか

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	ある	7	0.98%
2	ない	705	99.02%
	合計	712	

【300以下】

番号	項目	回答数	比率
1	ある	1	0.80%
2	ない	124	99.20%
	合計	125	

症例数 回答無し

【300以下】

番号	項目	回答数	比率
1	ある	6	1.03%
2	ない	576	98.97%
	合計	582	

症例数

症例数	件数
0	5
1	3
2	1

7) 血液法及び薬事法について

71. 「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（血液法）」および「薬事法」が改正され、平成15年7月にその大部分が実施されたのをご存じですか

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	はい	803	97.69%
2	いいえ	17	2.07%
3	その他	2	0.24%
	合計	822	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	はい	175	94.09%
2	いいえ	9	4.84%
3	その他	2	1.08%
	合計	186	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	はい	623	98.73%
2	いいえ	8	1.27%
3	その他	631	
	合計	623	98.73%

72. 「血液法」および「薬事法」には医療関係者の責務が記載されていますが、その内容をご存じですか

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	はい	507	61.75%
2	だいたい知っている	279	33.98%
3	いいえ	33	4.02%
4	その他	2	0.24%
	合計	821	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	はい	86	46.24%
2	だいたい知っている	85	45.70%
3	いいえ	14	7.53%
4	その他	1	0.54%
	合計	186	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	はい	419	66.51%
2	だいたい知っている	192	30.48%
3	いいえ	18	2.86%
4	その他	1	0.16%
	合計	630	

73.「薬事法」には輸血用血液、血漿分画製剤などヒトの血液や組織から製造された治療材料が「特定生物由来製品」と定められていることをご存じですか

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	はい	734	89.51%
2	だいたい知っている	75	9.15%
3	いいえ	10	1.22%
4	その他	1	0.12%
	合計	820	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	はい	152	81.72%
2	だいたい知っている	30	16.13%
3	いいえ	3	1.61%
4	その他	1	0.54%
	合計	186	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	はい	580	92.21%
2	だいたい知っている	42	6.68%
3	いいえ	7	1.11%
4	その他	0	0.00%
	合計	629	

74. 特定生物由来製品使用の際に患者さんから同意書をいただいていますか

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	口頭で同意をいただいている	15	1.84%
2	文書で同意をいただいている	777	95.10%
3	同意をいただいていない	14	1.71%
4	その他	11	1.35%
	合計	817	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	口頭で同意をいただいている	1	0.54%
2	文書で同意をいただいている	171	92.93%
3	同意をいただいていない	8	4.35%
4	その他	4	2.17%
	合計	184	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	口頭で同意をいただいている	13	2.07%
2	文書で同意をいただいている	603	96.02%
3	同意をいただいていない	5	0.80%
4	その他	7	1.11%
	合計	628	

75. 問 74 で①と回答された場合、それはなぜですか

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	「血液法」および「薬事法」には文書で同意を取るように明記されていないから	24	82.76%
2	口答で十分に説明できるから	1	3.45%
3	その他	4	13.79%
	合計	29	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	「血液法」および「薬事法」には文書で同意を取るように明記されていないから	3	50.00%
2	口答で十分に説明できるから	1	16.67%
3	その他	2	33.33%
	合計	6	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	「血液法」および「薬事法」には文書で同意を取るように明記されていないから	20	90.91%
2	口答で十分に説明できるから	0	0.00%
3	その他	2	9.09%
	合計	22	

76. 問 74 で②と回答された場合、どのようにされていますか

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	特定生物由来製品の内容（意義と危険性など）を記載した説明文を患者さんに渡している	679	90.05%
2	説明文はないが、文書に署名をいただいている	67	8.89%
3	その他	8	1.06%
	合計	754	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	特定生物由来製品の内容（意義と危険性など）を記載した説明文を患者さんに渡している	138	84.66%
2	説明文はないが、文書に署名をいただいている	22	13.50%
3	その他	3	1.84%
	合計	163	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	特定生物由来製品の内容（意義と危険性など）を記載した説明文を患者さんに渡している	539	91.67%
2	説明文はないが、文書に署名をいただいている	44	7.48%
3	その他	5	0.85%
	合計	588	

77. 「薬事法」には特定生物由来製品を患者さんに用いた場合、その製剤名、製剤番号、ロット番号、患者氏名、患者住所などを記録し、20年間の保管義務が明記されていますが保管していますか

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	はい	805	98.17%
2	いいえ	8	0.98%
3	その他	7	0.85%
	合計	820	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	はい	181	97.31%
2	いいえ	3	1.61%
3	その他	2	1.08%
	合計	186	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	はい	620	98.57%
2	いいえ	5	0.79%
3	その他	4	0.64%
	合計	629	

78. 問77で①はいと回答された場合どのようにされていますか

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	血液製剤の伝票をそのまま綴じている	132	16.38%
2	管理簿を作って記載している	222	27.54%
3	コンピュータで記録している	423	52.48%
4	その他	29	3.60%
	合計	806	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	血液製剤の伝票をそのまま綴じている	34	18.68%
2	管理簿を作って記載している	72	39.56%
3	コンピュータで記録している	71	39.01%
4	その他	5	2.75%
	合計	182	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	血液製剤の伝票をそのまま綴じている	96	15.51%
2	管理簿を作って記載している	150	24.23%
3	コンピュータで記録している	349	56.38%
4	その他	24	3.88%
	合計	619	

79. 院外処方された血漿分画製剤あるいは遺伝子組み換え血液凝固因子製剤の情報を処方薬局から入手し、記録していますか

【全体/病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	患者名、製剤名、使用日、住所だけを記録している	17	2.61%
2	1.に加え、製造番号（ロット番号）の情報を入手し記録している	30	4.60%
3	院外処方に関しては情報の記録は行わない	252	38.65%
4	その他	353	54.14%
	合計	652	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	患者名、製剤名、使用日、住所だけを記録している	3	2.04%
2	1.に加え、製造番号（ロット番号）の情報を入手し記録している	3	2.04%
3	院外処方に関しては情報の記録は行わない	45	30.61%
4	その他	96	65.31%
	合計	147	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	患者名、製剤名、使用日、住所だけを記録している	14	2.79%
2	1.に加え、製造番号（ロット番号）の情報を入手し記録している	27	5.38%
3	院外処方に関しては情報の記録は行わない	205	40.84%
4	その他	256	51.00%
	合計	502	

80. 改正薬事法では特定生物由来製品による感染症などの副作用が発生した場合、医療機関は厚生労働省に報告する義務があることが記載されていますが、このことに取り組んでいますか

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	取り組んでいる	415	53.07%
2	取り組んでいない	72	9.21%
3	現在検討中である	295	37.72%
	合計	782	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	取り組んでいる	75	42.13%
2	取り組んでいない	27	15.17%
3	現在検討中である	76	42.70%
	合計	178	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	取り組んでいる	339	56.59%
2	取り組んでいない	44	7.35%
3	現在検討中である	216	36.06%
	合計	599	

81. 問 80 で①と回答された場合、報告体制を記入してください

報告体制の記入一覧は 05031 報告.xls 参照

82. 「生物由来製品感染等被害救済制度」が平成16年4月1日から施行されたのをご存じですか

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	知っている	552	69.61%
2	知っているが、内容はわからない	166	20.93%
3	知らない	75	9.46%
	合計	793	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	知っている	98	54.75%
2	知っているが、内容はわからない	57	31.84%
3	知らない	24	13.41%
	合計	179	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	知っている	451	74.06%
2	知っているが、内容はわからない	108	17.73%
3	知らない	50	8.21%
	合計	609	

8) 記入者について

83. 職種

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	医師	112	13.74%
2	薬剤師	119	14.60%
3	臨床検査技師	562	68.96%
4	看護師	3	0.37%
5	その他	19	2.33%
	合計	815	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	医師	16	8.65%
2	薬剤師	37	20.00%
3	臨床検査技師	126	68.11%
4	看護師	3	1.62%
5	その他	3	1.62%
	合計	185	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	医師	95	15.20%
2	薬剤師	82	13.12%
3	臨床検査技師	432	69.12%
4	看護師	0	0.00%
5	その他	16	2.56%
	合計	625	

84. 所属

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	病院管理者	19	2.35%
2	臨床部門	90	11.11%
3	輸血部門	157	19.38%
4	薬剤部門	111	13.70%
5	検査部門	403	49.75%
6	看護部門	3	0.37%
7	その他	27	3.33%
	合計	810	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	病院管理者	5	2.70%
2	臨床部門	19	10.27%
3	輸血部門	2	1.08%
4	薬剤部門	37	20.00%
5	検査部門	114	61.62%
6	看護部門	3	1.62%
7	その他	5	2.70%
	合計	185	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	病院管理者	14	2.25%
2	臨床部門	71	11.43%
3	輸血部門	155	24.96%
4	薬剤部門	74	11.92%
5	検査部門	285	45.89%
6	看護部門	0	0.00%
7	その他	22	3.54%
	合計	621	

その他一覧

83.医師、検査技師、薬剤部門、医事課事務部門が記入	1
83.医師、薬剤師、臨床検査技師	
84.臨床部門、輸血部門、薬剤部門	1
83.医師と臨床検査技師	
84.臨床部門、輸血部門、検査部門	1
83.薬剤師、臨床検査技師など	1
その他、薬剤部門の薬剤師も記入	2
とても詳しいアンケート項目だったので、今後の輸血業務の参考になるような主計・解析をお願いします。	1
ホームページ回答できませんでしたアクセス不良	1
医師、薬剤師、臨床検査技師、看護師が記入。 所属は、病院管理者、薬剤部門、検査部門、看護部門、の所属。	1
医師・薬剤課(製剤管理)・医事課合同	1
医師と薬剤師	1
医師と臨床検査技師	1
外科	1
各担当者	1
血液内科と輸血部の兼務	1
検査部門、薬剤部門、事務部門によりそれぞれの分野を回答した。	1
質問 78 は①～③すべて行っている	1
主に臨床検査技師が記入したが、血漿分画製剤に関する設問は薬剤師、査定に関する設問は医事課事務職員が記入した	1
内科	1
病院管理者、薬剤部門、検査部門、看護部門、総務課の医師、薬剤師、臨床検査技師、看護師、事務員が記入	1
病院総務課	1
麻酔科	1